

人の行動はいつ変わる?

人の言葉で…… **変わらない**

気づきで …… **変わる**

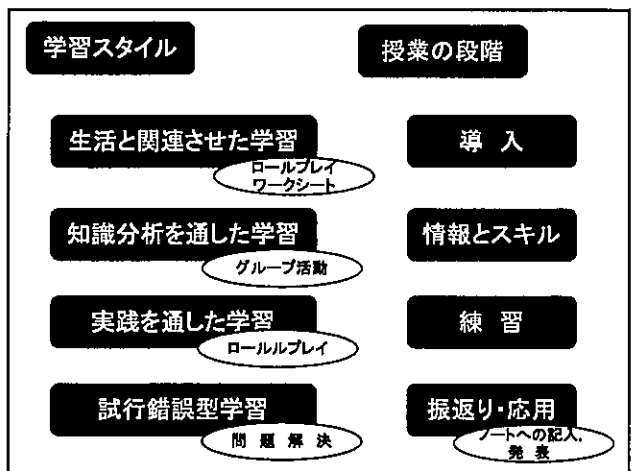
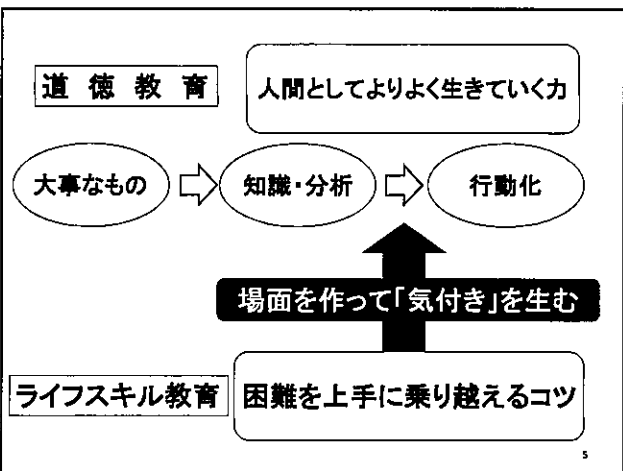
キーワードは **「気づき」**

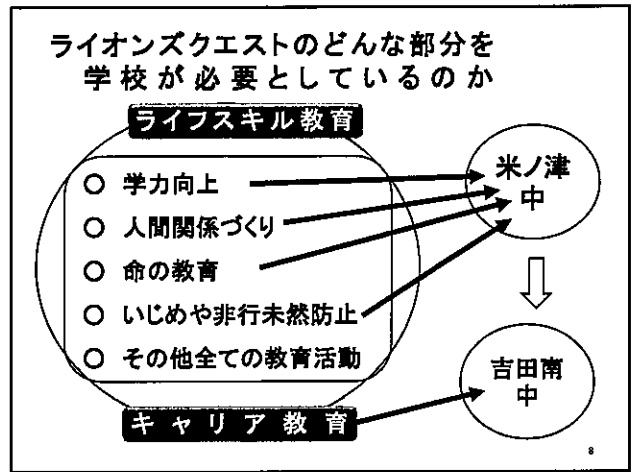
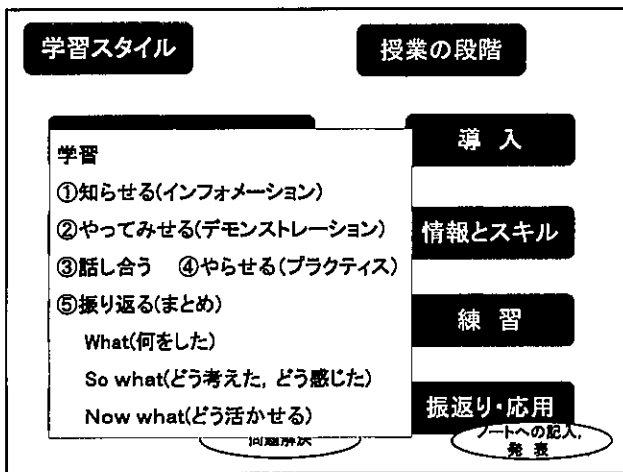
ライフスキル教育とは

困難を上手に乗り越える力

知識 → 行動
つなぐ

LQの中心は





平成25・26年度

出水市立米ノ津中学校

1年	2年	3年	合計
124	115	122	361
4	3	4	13(2)

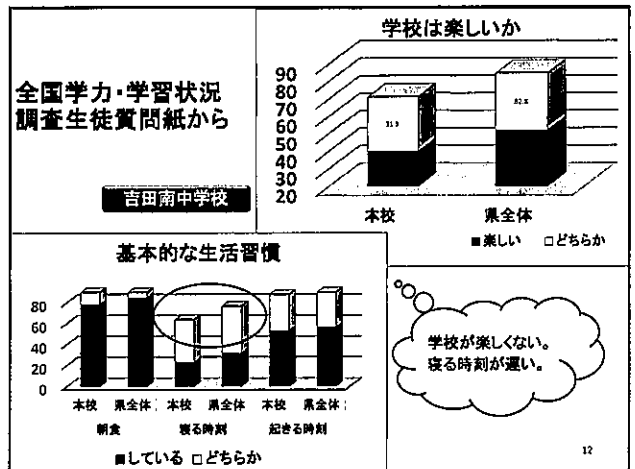
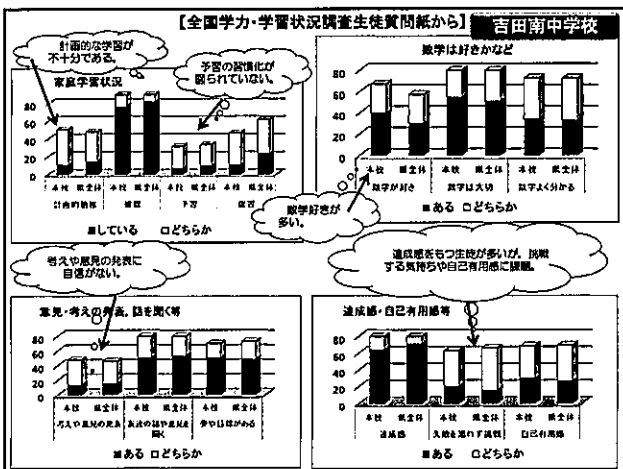
男平均	39.4歳
女平均	37.2歳
平均	38.6歳

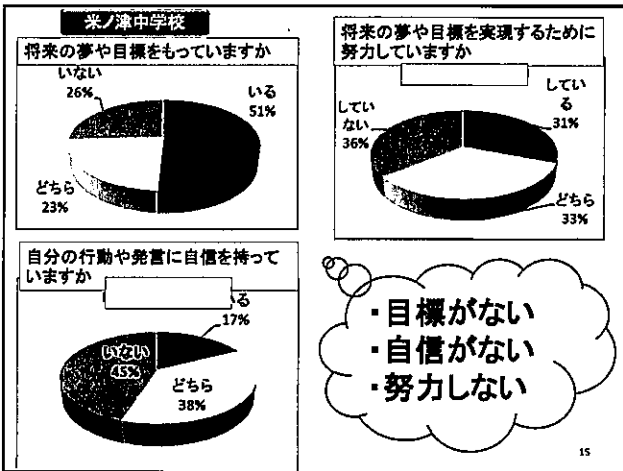
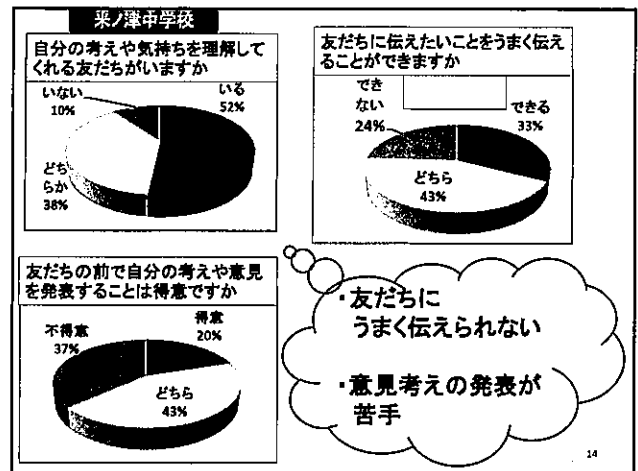
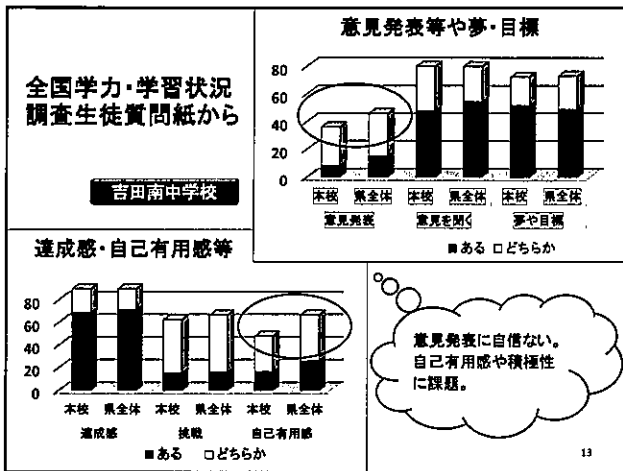
平成27～30年度

鹿児島市立吉田南中学校

1年	2年	3年	合計
64	75	84	223
2	2	3	9(2)

男平均	44.8歳
女平均	42.3歳
平均	43.6歳





- ・ 自信がない
- ・ 自己有用感、自己肯定感、セルフエスティームが低い
- ・ 主体的な学習ができない
- ・ 人間関係作りが苦手

↓

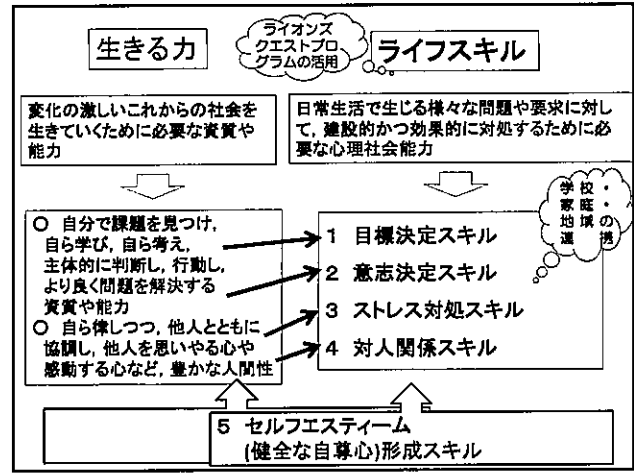
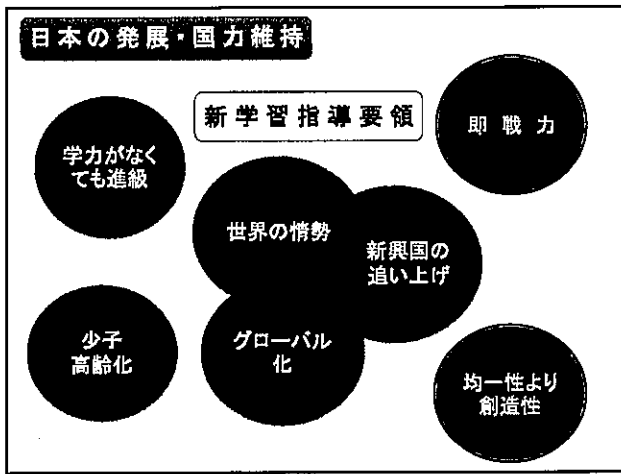
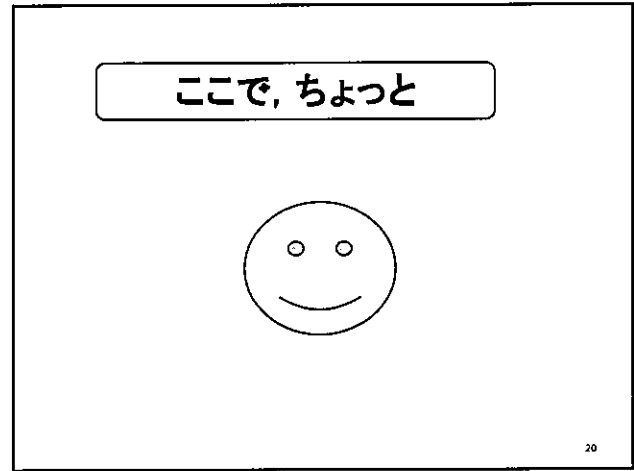
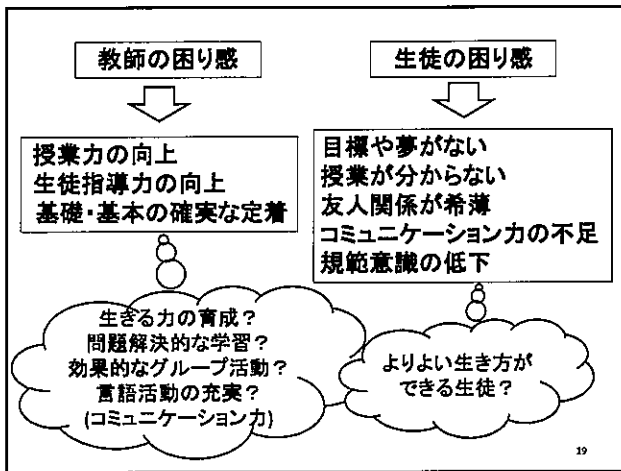
- ・ 主体的・協働的な学びの場を増やす必要
- ・ 自己肯定感・自尊感情・自己有用感などを育む必要

まとめると

- ・ 夢や目標が持てない
- ・ 自分に自信が持てない
- ・ 人間関係づくりができない

こんな悩みがあります

- 生徒が授業に集中していない
- 授業では、問題解決的な学習を取り入れるように言われるがどうしたらいいの
- 不登校の生徒や傾向のある生徒には、どう対応すればいいの
- 生徒がまとまる学級をつくりたい
- 規範意識をどう育てたらよいか
- 授業でグループ活動をどう進めればいいのか
- 発問の工夫はどのようにすればいいの
- 生徒がまとまる学級をつくりたい
- 保護者からの協力をたくさん得られるようにしたい
- 一生懸命教えているのに、生徒の平均が上がらない

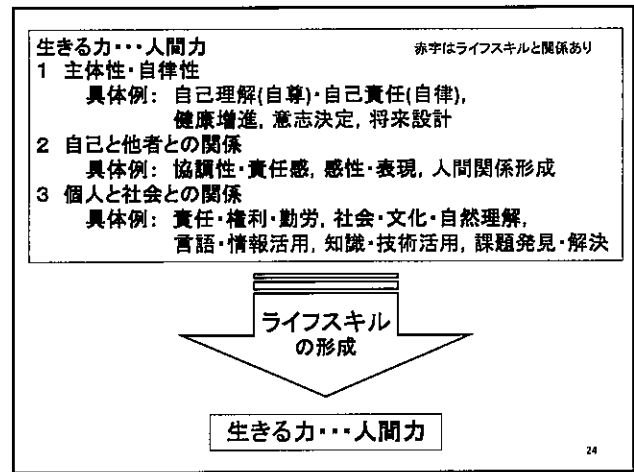


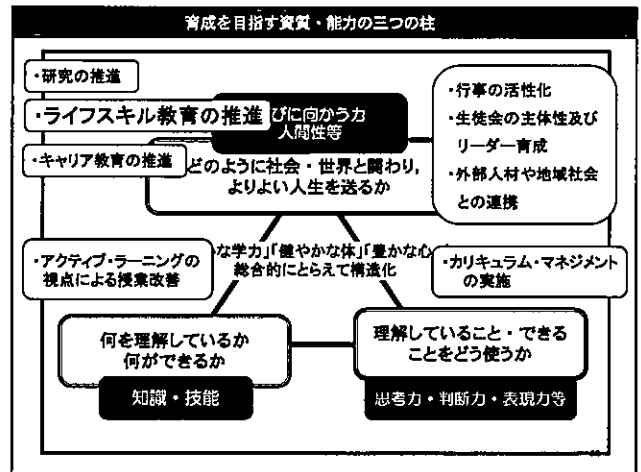
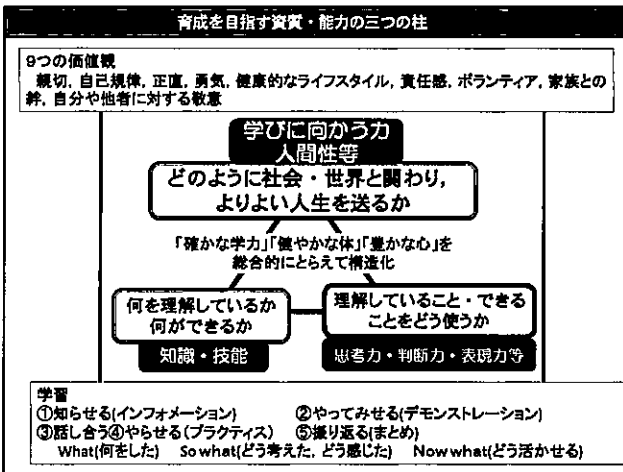
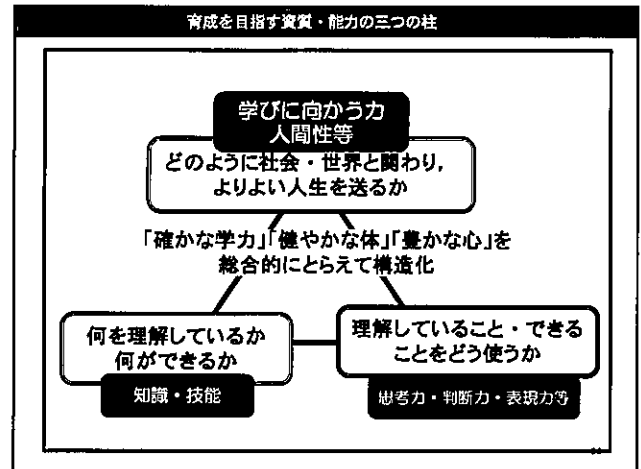
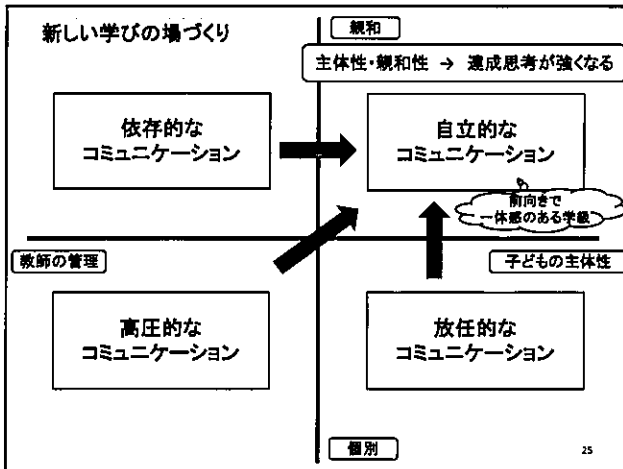
セルフエスティーム(健全な自尊心)の柱

- 1 自己有能感: 基本的に人生の挑戦に立ち向かう力, 自分の知性とそのプロセスを信頼する。(考える力)
- 2 自己価値(尊重)観: 成功し幸せになる価値があると感じる。達成, 成功, 尊重, 友情, 愛などにふさわしい人間として知覚する。

セルフエスティーム(健全な自尊心)の要素

- 1 個性の感覚 : 自分には自分らしい特質がある。
- 2 有能性の感覚: 自分にはなすべきことをなす能力があり, 能力を効果的に発揮する資源があり, 自分を取り巻く環境に影響を与える機会がある。
- 3 絆の感覚 : 自分にとって重要な人, 場所, 物との関係に満足している。

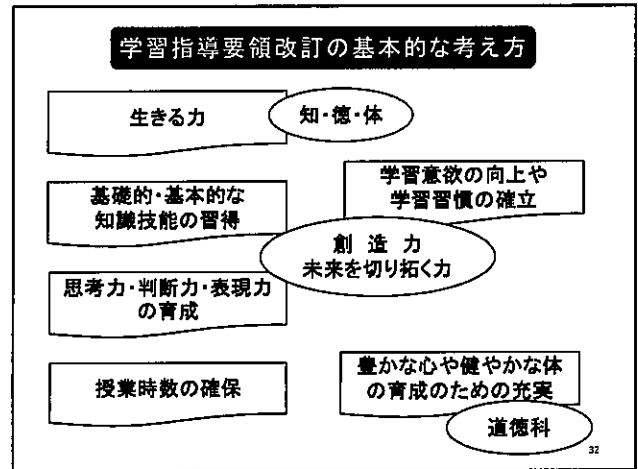
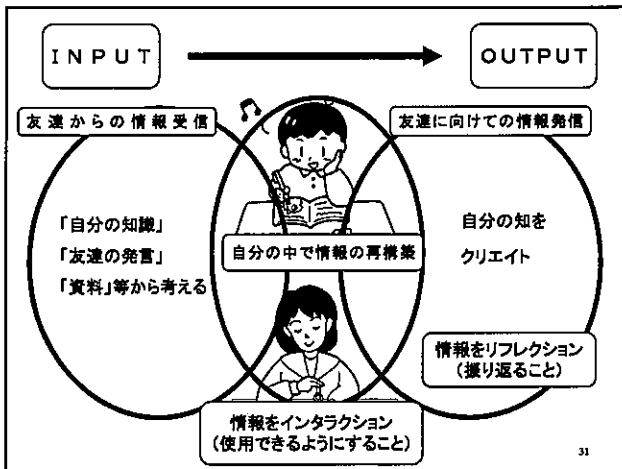




- ・ 主体的・対話的な深い学びの場を増やす
- アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善
- ・ 自己肯定感・自尊感情・自己有用感などを育む
- ライフスキル教育の教育課程への位置付け
(ライオンズクエストプログラムを活用、年間10時間以上)

課題の解決に向けて
学び合う子供の姿
～インタラクションとリフレクション～

30



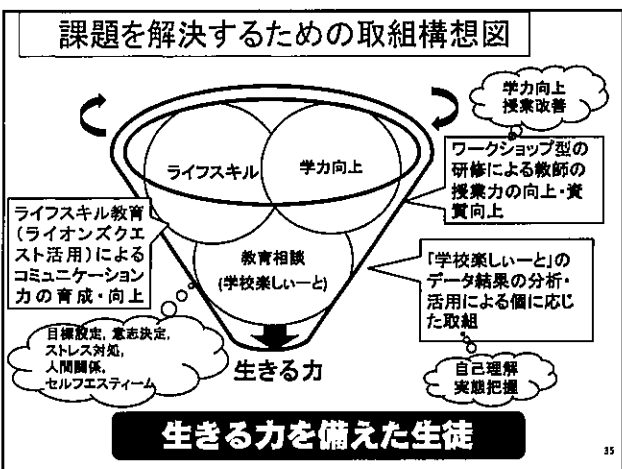
米ノ津中学校での取組

○ 課題とその解決策

課題	解決策
学力向上	<ul style="list-style-type: none"> 教師の授業力・指導力など(資質の向上) 生徒の学力向上 ワークショップ型研修(全員参加の研修) 問題解決的な学習、体験的な学習などを取り入れ、授業の改善
生徒指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 人間関係づくり コミュニケーション力の育成 ライフスキル教育の充実(JIYD、ライオンズクエスト活用)
豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> データに基づく教育相談等の充実 データに基づく確実なアプローチと具体的な指導・支援「学校楽しいーと」を活用

夢や目標が持てない → 自分に自信が持てない

よりよい人間関係づくりが苦手



研修部の中に、ライフスキル委員会、学力向上委員会、教育相談委員会を設け、全職員を3委員会に分けている。研修部では、各委員会のチーフと研修係を置いて実践。

研修部	ライフスキル委員会	チーフ(1)、メンバー(7)
研修係(1)	学力向上委員会	チーフ(1)、メンバー(7)
3委員会のチーフ	教育相談委員会	チーフ(1)、メンバー(6)

(1) 校内外での研修

2 ライフスキル教育への取組

教師を知る

①

②

③

④

夏季休業中に、全職員WSに参加、授業展開を研修する。

模擬授業を実施して、授業の流れを共有する。

板書計画を作成する。

講師を招いてのフォローアップ研修、授業課題の解決を図る。

JIVDの認定講師を招聘し、夏季休業中のワークショップ（WS）に参加し、実施に必要な資格を取得。授業前に、授業検討や模擬授業を実施したり、授業実施後、フォローアップ研修を実施したりするなど、課題解決を図り指導力の向上を図る。さらに、年間指導計画に基づき、教職員が全校体制で実施している。

先生達の研修(ワークショップ型の研修会)

学年毎に授業に向けた研修

設営資料の作成 授業の資料準備

学級設営

(2) 年間指導計画の作成(教育課程への位置付け)と学級設営

実態把握のため、生徒・保護者・教職員にアンケートを実施し、学級活動、道徳、総合的な学習の時間の学習内容や市の「命の教育」との関連などを考慮した年間計画を作成。

また、「見える化」を意識した板書計画を立て、効果的に授業を実施。さらに、授業で使用した設営物は、ライフスキルコーナーに設置、授業の振り返りや学校生活に役立てる。

ライフスキルコーナー

学年共通の教室設営

同じ上學に於けるための3つのポイント

ステップ

内容を理解しよう。

「なぜ」「どこで」「どのように」など質問する。

相手の気持ちに合ったコメントをする。

自分の言葉で、相手の気持ちや考えを伝えるコメントをする。

ステップ

話を引き出そう。

相手の話を聴き流さない。

相手の話に関心を持ち、自分も学びを促さない。

相手に話されてもいいアドバイスをしなさい。

ステップ

意図を察しよう。

うなずいたり、やや傾かがみになる。

相手の目を見る。

顔のこぼれを見ない。

(3) 学習の様子

生徒が学ぶ

①知らせる (インフォメーション)

授業前の雰囲気作りをする

生徒の振り返りが家庭で生かされるようにする。

②やってみせる (デモンストレーション)

③話し合い、④やらせる (プラクティス)

⑤振り返り (まとめ)



学校楽しいとの活用 一級一

友人関係や教師との関係がやや弱いので、ライフスキルにより高められないだろうか。

生徒理解を図り、悩みを抱える生徒の早期発見と早期解決を目指す。

学習意欲に課題がある。

教師の困り感よりよい学級経営

生徒の困り感 夢や目標が持てない

教師の困り感 生徒の規範意識の高揚

生徒の困り感 学業不振 授業内容が分らない

教師の困り感 いじめの未然防止 解消

生徒の困り感 よりよい人間関係が構築できない

項目	現状	目標	達成状況
1	友人関係や教師との関係がやや弱い	友人関係や教師との関係を強化する	達成
2	友人関係や教師との関係がやや弱い	友人関係や教師との関係を強化する	達成
3	友人関係や教師との関係がやや弱い	友人関係や教師との関係を強化する	達成
4	友人関係や教師との関係がやや弱い	友人関係や教師との関係を強化する	達成
5	友人関係や教師との関係がやや弱い	友人関係や教師との関係を強化する	達成
6	友人関係や教師との関係がやや弱い	友人関係や教師との関係を強化する	達成
7	友人関係や教師との関係がやや弱い	友人関係や教師との関係を強化する	達成
8	友人関係や教師との関係がやや弱い	友人関係や教師との関係を強化する	達成
9	友人関係や教師との関係がやや弱い	友人関係や教師との関係を強化する	達成
10	友人関係や教師との関係がやや弱い	友人関係や教師との関係を強化する	達成
11	友人関係や教師との関係がやや弱い	友人関係や教師との関係を強化する	達成
12	友人関係や教師との関係がやや弱い	友人関係や教師との関係を強化する	達成
13	友人関係や教師との関係がやや弱い	友人関係や教師との関係を強化する	達成
14	友人関係や教師との関係がやや弱い	友人関係や教師との関係を強化する	達成
15	友人関係や教師との関係がやや弱い	友人関係や教師との関係を強化する	達成
16	友人関係や教師との関係がやや弱い	友人関係や教師との関係を強化する	達成
17	友人関係や教師との関係がやや弱い	友人関係や教師との関係を強化する	達成
18	友人関係や教師との関係がやや弱い	友人関係や教師との関係を強化する	達成
19	友人関係や教師との関係がやや弱い	友人関係や教師との関係を強化する	達成
20	友人関係や教師との関係がやや弱い	友人関係や教師との関係を強化する	達成

平成25年度ライフスキル教育実施計画 (1~3年)

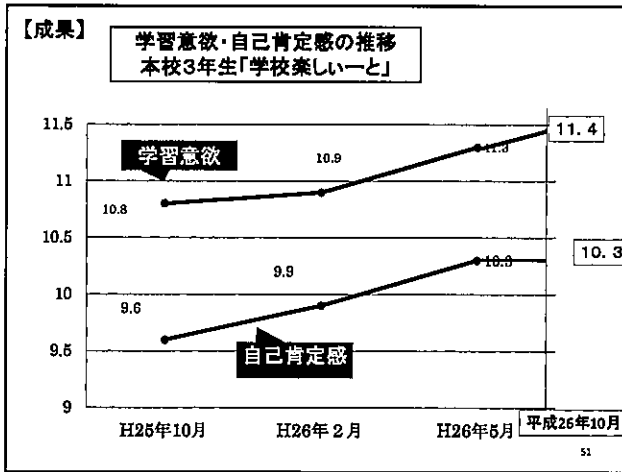
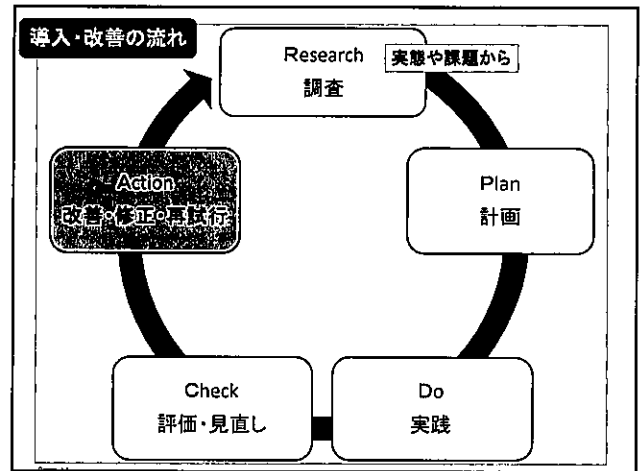
学期	全て6校時	単元・授業番号	プログラム授業名	主な学習内容
一学期	9/5 (木)	1-1	オリエンテーションと名前の学習	オリエンテーションを行い、これからの学習への意欲を高める。
	9/27 (金)	2-1	本道の自信をつける方法	自信について、また自信を高める方法について学習する。
	10/11 (金)	2-4,5	上手な話の聞き方	「上手に聞く」スキルを学び、練習する。
	11/14 (木)	2-8	適切な意思決定ができるようになる	責任感ある人が、どのように適切な意思決定をしているかを学習する。
	11/28 (木)	3-1	「感情」について考える	同じ状況でも感じ方に個人差があることを確認する。
	12/5 (木)	3-3	谷塚から頂上へ(1)	困難と想われる状況に出会ったときに自分の考えや行動を基盤とし、影響を学ぶ方法を学ぶ。
三学期	12/19 (木)	3-5,6	怒りを轉めて冷静に考える	怒りを引き起こす外的原因や、怒りに対する反応が人によって異なることなど考える。
	1/30 (木)	3-8	ストレスについて考える	ストレスをコントロールする効果的な方法を探索する。
	2/21 (金)	4-7	自己主張する	仲間からの好ましくないプレッシャーに自己主体的に対応する方法を練習する。
	3/3 (月)	4-8	ASK	仲間からの好ましくない圧力に立ち向かうための3つのステップを学習し、練習する。

アンケート等で実態を把握し、次年度の年間指導計画の作成に生かす

項目	現状	目標	達成状況
1	仲間の関係に立って考えようとしている	仲間の関係に立って考えようとしている	1.97 2.50
2	人に対しては、気遣いがあるように心がけている	人に対しては、気遣いがあるように心がけている	2.00 2.00
3	人に頼りたい気持ちも持っている	人に頼りたい気持ちも持っている	1.83 2.11
4	自分がされたら困ったり困ったりするようなことを、人にしないようにしている	自分がされたら困ったり困ったりするようなことを、人にしないようにしている	1.83 2.11
5	自分が困るようなことを人にしないようにしている	自分が困るようなことを人にしないようにしている	1.83 2.11
6	自分の困るようなことを人にしないようにしている	自分の困るようなことを人にしないようにしている	1.83 2.11
7	自分の困るようなことを人にしないようにしている	自分の困るようなことを人にしないようにしている	1.83 2.11
8	自分の困るようなことを人にしないようにしている	自分の困るようなことを人にしないようにしている	1.83 2.11
9	自分の困るようなことを人にしないようにしている	自分の困るようなことを人にしないようにしている	1.83 2.11
10	自分の困るようなことを人にしないようにしている	自分の困るようなことを人にしないようにしている	1.83 2.11
11	自分の困るようなことを人にしないようにしている	自分の困るようなことを人にしないようにしている	1.83 2.11
12	自分の困るようなことを人にしないようにしている	自分の困るようなことを人にしないようにしている	1.83 2.11
13	自分の困るようなことを人にしないようにしている	自分の困るようなことを人にしないようにしている	1.83 2.11
14	自分の困るようなことを人にしないようにしている	自分の困るようなことを人にしないようにしている	1.83 2.11
15	自分の困るようなことを人にしないようにしている	自分の困るようなことを人にしないようにしている	1.83 2.11
16	自分の困るようなことを人にしないようにしている	自分の困るようなことを人にしないようにしている	1.83 2.11
17	自分の困るようなことを人にしないようにしている	自分の困るようなことを人にしないようにしている	1.83 2.11
18	自分の困るようなことを人にしないようにしている	自分の困るようなことを人にしないようにしている	1.83 2.11
19	自分の困るようなことを人にしないようにしている	自分の困るようなことを人にしないようにしている	1.83 2.11
20	自分の困るようなことを人にしないようにしている	自分の困るようなことを人にしないようにしている	1.83 2.11

平成26年度ライフスキル教育実施計画（1～3年）

総・学・道	単元・授業番号 プログラム授業名	主な学習内容
1 学期	総(1年)	単元1-1 オリエンテーションと名前の学習 これから学習する内容について知る。 ※1年生のみ実施
	学4/14月	単元1-2+3 ・学級の基本ルールづくり ・相手を傷つける言動、助ま ず言動 安全で思いやりがあり、認め合う学級にするた めのルール作りを行う。 ※内容的に2・3を組み合わせる。
	道5/2金	単元2-1 本当の目標をつける方法 自信について、また自信を高める方法につ いて学習する。
	学5/26月	単元2-4+5 ・聞いている？ ・上手に話を聞く方法を学ぶ 「上手に聞く」スキルを学び、練習する。
2 学期	道9/5金	単元4-3 友情の輪を広げる ※1年生 単元4-1友情を築く 友情とは何か。新しい友情を形成する方法を 検討する。 ※ 体育大会との関連
	学10/6月	単元2-7B 適切な意志決定ができるよ うになる 責任をもつようになる方法や「選択のための チェックポイント」について学ぶ。 ※公開に向けての事前指導
	総10/31金※ 公開授業(予定)	単元4-7 自己主張する 仲間からの好ましくないプレッシャーに自己主 張的に対応する方法を練習する。
	総11/21金	単元4-8 仲間からの好ましくない圧力に立ち向かうため



成果

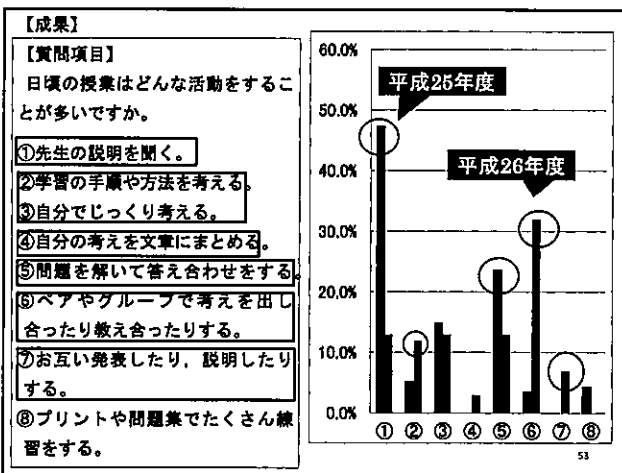
色々な友だちの考えを共有する
→安心できる集団の証

自己の振り返り

【子どもの変化】【生徒の生活の記録より(中2男子生徒)】
グループのメリット・デメリットを考えました。デメリット
を考えたことがありませんでした。周りが見えなくなると
いう意見がありました。
私は、すぐに様々な人と話せるタイプではないので、仲良
くなった人と何人かで盛り上がりすぎてしまいます。そして、周
りが見えなくなります。私は寸劇で無視される側だったので、
傷つきました。しっかり周りを見ていきたいです。

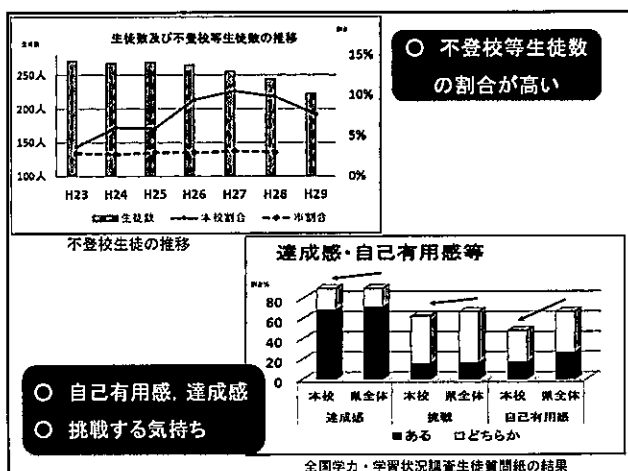
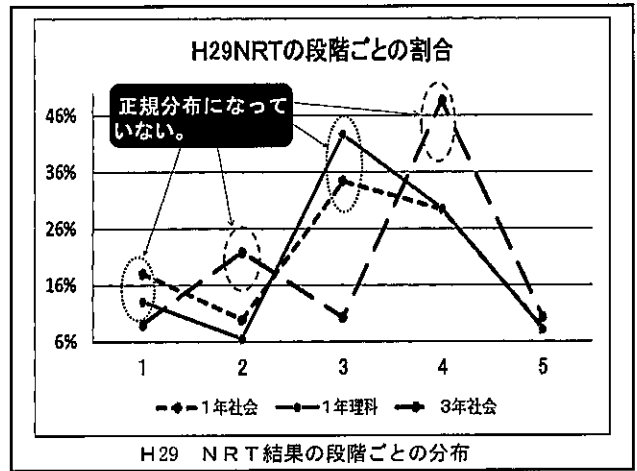
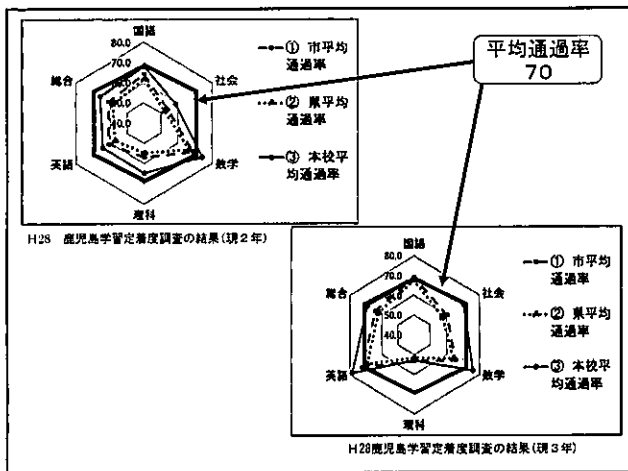
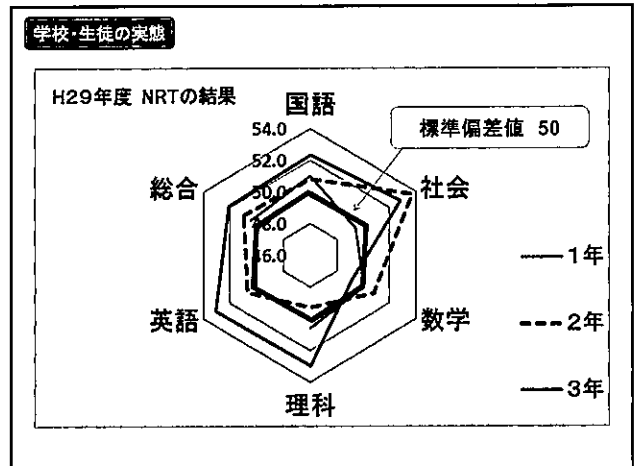
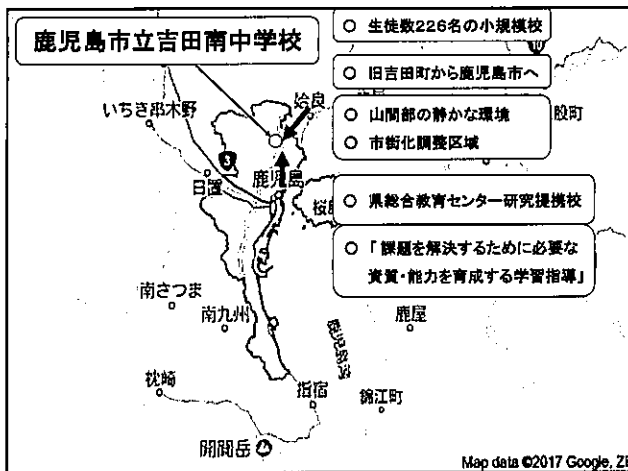
学んだことを活用しよう
とする意欲

52



吉田南中学校での取組

54



キャリア教育とライフスキル教育 (ライオンズクエストプログラム)のコラボレーション

キャリア教育とは、「児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成して行くために必要な意欲・態度や能力を育てる教育」

働く意義や意欲の形成

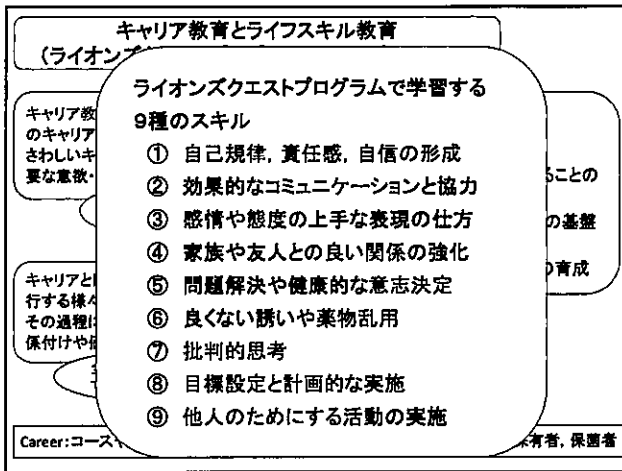
キャリア教育が目指すもの

- キャリア発達の支援
- 学ぶことや働くこと、生きることの楽しさを実感させること
- 社会的自立・職業的自立の基盤となる資質・能力の育成
- 望ましい勤労観・職業観の育成

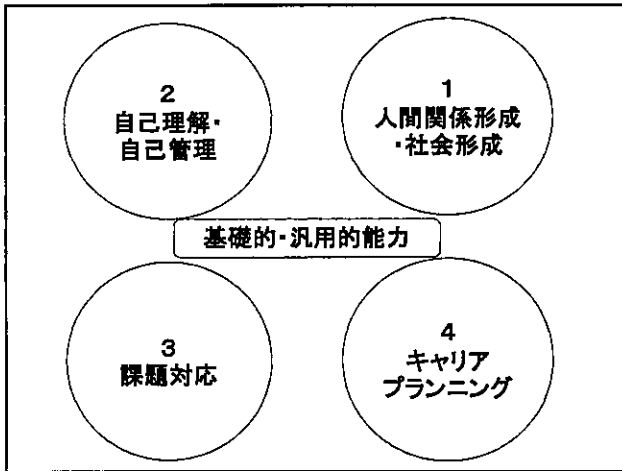
キャリアとは、個々が生涯にわたって遂行する様々な立場や役割の連続、及びその過程における自己と働くこととの関係付けや価値付けの累積

全ての生活で経験する立場や役割

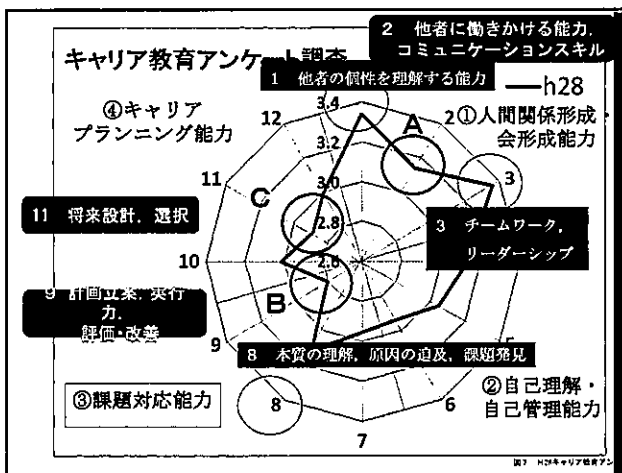
Career: コースやトラック(行路, 足跡) キャリア(carrier): 遺伝子の保有者, 保菌者



キャリア教育で育成すべき力	
基礎的・汎用的能力	アンケート項目番号, 各能力における要素
人間関係形成・社会形成	① 他者の個性を理解する力 ② 他者に働きかける力, コミュニケーションスキル ③ チームワーク, リーダーシップ
自己理解・自己管理	④ 自己の役割の理解, 自己の動機付け ⑤ 忍耐力, ストレスマネジメント ⑥ 前向きに考える力, 主体的行動
課題対応	⑦ 情報の理解・選択・処理等 ⑧ 本質の理解, 原因の追究, 課題発見 ⑨ 計画立案, 実行力, 評価・改善
キャリアプランニング	⑩ 学ぶこと・働くことの意義や役割の理解, 多様性の理解 ⑪ 将来設計, 選択 ⑫ 行動・改善



1 他者の個性を理解する能力	①
2 他者に働きかける能力, コミュニケーションスキル	
3 チームワーク, リーダーシップ	
4 自己の役割の理解, 自己の動機付け	②
5 ストレスマネジメント, 忍耐力	
6 前向きに考える力, 主体的行動	
7 情報の理解・選択・処理等	③
8 本質の理解, 原因の追究, 課題発見	
9 計画立案, 実行力, 評価・改善	
10 学ぶこと・働くことの意義や役割の理解, 多様性の理解	④
11 将来設計, 選択	
12 行動・改善	



キャリア発達課題と課題解決のための主な取組		
キャリア発達課題	課題解決のための主な取組	教育課程
① 肯定的自己理解と自己有用感の獲得	① ライオンズクエストプログラムを活用したライフスキル教育 ② 「学校楽しい」と、「SNSチェックリスト」、「NRT結果」等を活用した教育相談活動	教科, 道徳, 特別活動, 総合的な学習の時間, 生徒会活動, 学校行事等の活用
② 興味・関心等に基づく勤労観・職業観の形成	① 3年間を見通した進路指導 ② 職業講話, 職業調べ・職場体験学習(トライワーク)等	
③ 進路計画の立案と暫定的選択	③ 上級学校の紹介・先輩の講話等	
④ 生き方や進路に関する現実的探索		

【内容】

- 校務分掌組織や各種委員会組織などの改善を通じた校内体制の整備
- 教育課程の改善
- 地域や関係機関との連携の推進
- 教職員の研修（外部講師招聘による体験的な学習の設定）

実 際

- 校務分掌組織や各種委員会組織などの改善を通じた校内体制の整備

進路指導主任 → キャリア教育のコーディネーター

第1学年に配置
学習指導委員会の長

進路指導副主任 → 従来の進路指導を担当

① 校務分掌組織や各種委員会組織などの改善を通じた校内体制の整備

キャリア教育の位置付け

学習指導委員会とライフスキル教育委員会

委員会名	メンバー	主な仕事内容
学習指導委員会	校長, 教頭, 進路指導主任, 学年進路担当, 指導法改善担当	・学習指導や個別支援の内容 ・諸検査分析とその活用 ・土曜授業のスキルアップ校時の企画・運営等
ライフスキル教育委員会 (LS)	校長, 教頭, 教務, 生徒指導主任, ライフスキル教育担当	・実態に基づいた年間のライフスキル学習の企画・運営 ・資料づくりや模擬授業等の企画・運営等

積極的な生徒指導
コミュニケーション能力の育成

共感的な
人間関係の構築

実 際

- 教育課程の改善

ア 年間指導計画へのキャリア教育の視点の明確化

イ 3年間を見通したキャリア教育

ウ 研究に基づいた学習指導の改善

エ 教育相談や面談等の充実

オ ライフスキル教育とキャリア教育のコラボレーションとしての取組

② 教育課程の改善 **キャリア教育の視点の明確化**

年間指導計画における基礎的・汎用的能力の位置付け

2年 社会科年間指導計画 3学期 (地理的分野) No.9

課: 課題対応能力
自: 自己理解・自己管理能力
人: 人間関係形成・社会形成能力
キ: キャリアプランニング能力

基礎的・汎用的能力の4つの能力を明記し、意図的な指導に努めている。

② 教育課程の改善

学年	活動のテーマ	主な活動内容
1年	○学習テーマ「生きるということ」 自分の生命の誕生や命の由来等をきっかけに「生命」について考える学習を構成し、自分の問題として把握させる。 実際の学習構成にあたっては、効果的なゲストティーチャーの活用、体験活動の位置付け、「学び方」の共通学習の設定などにも留意する。	○ライフスキルについて ○異国留学の実践 ○自分の誕生について ○命の由来や保護者の思いなどについて ○「生きるということ」のまとめ ○体験学習(環境問題に関する)の実践 ○まとめ発表会の実施
2年	○学習テーマ「社会の中で生きる」 人の生命を教育の視点から学ぶ。方々を自分の生活の場として捉え、社会とのかかわりについて考える。 実際の学習構成にあたっては、効果的なゲストティーチャーの活用、体験活動の位置付け、「学び方」の共通学習の設定などにも留意する。	○ライフスキルについて ○修学旅行の実施 ○「社会の中で生きる」ということ ○トライワーク(福祉体験学習)の実践 ○まとめ発表会の実施
3年	○学習テーマ「自分さがしの旅」 自分の未来を題材に、進路・生き方指導やキャリア教育の視点から学習を構成し、今後の自分の生活方について深く考える。 実際の学習構成にあたっては、効果的なゲストティーチャーの活用、体験活動の位置付け、「学び方」の共通学習の設定などにも留意する。	○ライフスキルについて ○働くことについて ○社会人としてのマナーについて(面接等) ○トライワーク(福祉体験学習)の実践 ○自分の将来について ○上級学校の選択について ○自分の進路の見直し ○まとめ発表会 ○入試制度について ○将来の目標の決定

3年間を見通したキャリア教育

3年間を見通したキャリア教育

ハローワークから講師を招いて職業講話
ポートフォリオによる学習の積み重ね
大学生の先輩を招いての講話
トライワーク（職場体験学習）の発表

研究に基づいた学習指導の改善

研究授業 社会の授業
体育の授業
公開授業後の授業研究
数学の授業

教育相談や面談等の充実

家庭訪問を三者相談に変更

NRTの個票
学校楽しいと
SNSチェックシート

○ 学習状況
○ 人間関係の困り感
○ インターネットやSNSの利用状況

学校楽しいと

この部分に属する集団や個人は何らかの支援が必要である。

学力向上との関係
学級集団との関係

レーダーチャートの凹凸により、個人の強みや弱みを把握
適切な支援

自己肯定感と友人関係、学習意欲、学級集団における達成感を表すバブルチャート

「友人との関係」「教師との関係」「学習意欲」「自己肯定感」「心身の状態」「学級集団に対する満足感」の6つの観点
生徒の困り感を把握する調査

SNSチェックシート

**ライフスキル教育とキャリア教育の
コラボレーションとしての取組**

人間関係形成・社会形成能力
自己理解・自己管理能力、課題対応能力

エネジャイザ
課題解決を促す活動
ロールプレイ、体験活動

実 際

③ 地域や関係機関との連携の推進

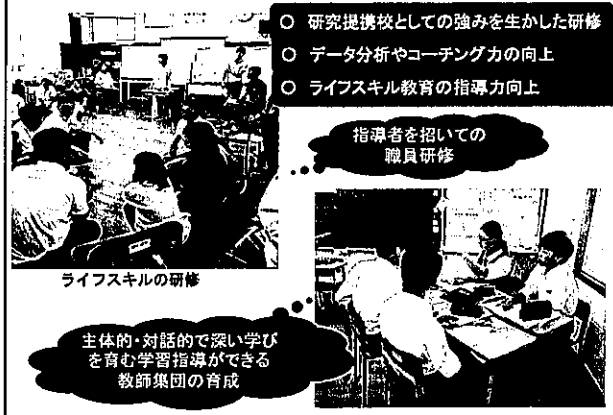
③ 地域や関係機関との連携の推進



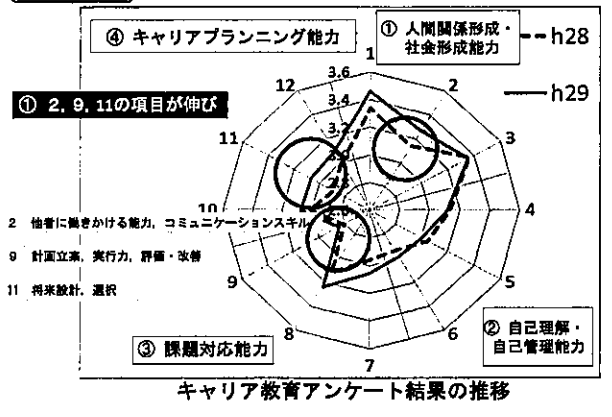
実 際

④ 教職員の研修

④ 教職員の研修 (外部講師招聘による体験的な学習の設定)

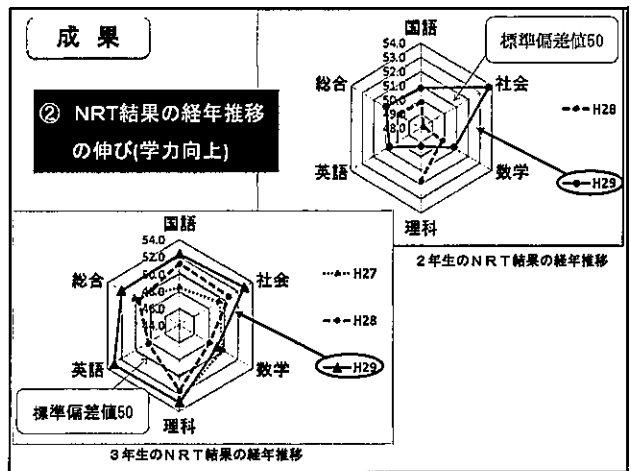


成 果



成 果

② NRT結果の経年推移の伸び(学力向上)



課題

- ① 5 (ストレスマネジメント, 忍耐力)の項目が低下
新しいプログラムを取り入れた改善
- ② 9 (計画立案, 実行力, 評価・改善)の項目が低い
主体性の発揮, 自己評価等を通した自らの具体的
改善策
- ③ 小・中が連携したキャリア教育の推進

学びに向かう力

86

満足感が
モチベーショ
ンを支える

生徒の意欲を高めるには
手応え感覚(ポジティブ感情)が必要

- ① 充実感
「すがすがしい」「気持ちいい」などの満たされた感覚
- ② 達成感
「なるほど」「分かった」「できそうだ」などを支える感覚
- ③ 自己有用感・自己有能感
「前よりうまくいった」「少しは成長したかな」など
自己の成長を実感する感覚
- ④ 一体感
「一緒によかった」「みんながいたから」
「みんなでやると楽しい」などの協働的に学ぶ価値を
実感する感覚

自ら学ぶ, 共に学ぶ

- 学び合いを楽しむ
- 積極的に主張する
- 互いの意見を傾聴する
- 独自性や斬新さを認める
- 意見や考えの差違に正対する
- 自らの考えを生成する
- 仲間の存在を大切にする
- 自己の変容に気付く

88

日本の教育再生の一端を担う ライフスキル教育

- 1 ライオンズクエストのどんな部分を
学校が必要としているのか



生きる力を育成するための中心となる

- 2 ライオンズクラブにお願いしたいこと



連携した取組により, 未来を担う日本人を育成できる
→ 人材育成

89

2 ライオンズクラブにお願いしたいこと

- ① 働きかけ → 学校へ, 行政等へ
- ② 支援・普及 → 教師の指導力の育成,
ライフスキルの有効性
- ③ 講師等の援助 → ワークショップ型の研修,
フォローアップ研修

90

0

0